保健室だより 1月号

2年7組 西浦 功祐
保健委員 角野 真理

今月の目標は…
心と体の健康です。

新学期が始まって2週間が経ちました。生活のリズムは整いましたか？
1月は寒さのピークで、センター試験があります。
しかし、カゼやインフルエンザ、時期に別に様々な感染性胃腸炎などが流行する季節でもあります。また、ストレスやあせりを感じている人もいるかもしれません。そこで心の面でも体の面でも健康で過ごせるような内容を紹介していますのでしっかり読んでよい1年をスタートできるようにしましょう。

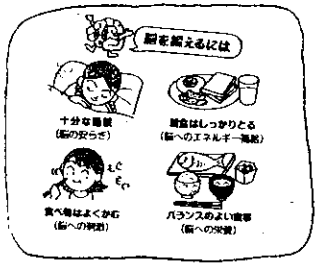
＊受験生のみなさんへ＊

いよいよセンター試験があります。その後には二次試験が控えている人もいると思います。特に体に気をつけなければいけないので、このようなことに注意しましょう。

1. 夜はなるべく早く寝て朝早く起きる習慣をつけましょう。
脳が活発に働きだすのは起床後3時間くらいです。

2. 夜食には消化にいいものを!!
寝る1時間前には食べないようにしましょう。

3. ときどきは休憩しましょう。
体調の悪い時は無理しても悪化するだけです。
勉強できない時はホッとひと息することもメリハリです…。



＊万一カゼをひいたら…!!!

◆安静… 外出をせずに睡眠をたっぷりとりましょう。

◆保温・保湿… 部屋を温かくして、加湿もしましょう。

◆栄養… 消化のいいものを食べましょう。
水分も十分にとってください。

＊突然ですが…クイズです!!!＊

Q. もしもカゼウイルスがサッカーボールの大きさだったら、人間の大きさは？
ヒント! カゼウイルスは100万分の1ミリ。電子顕微鏡でしか見ることができません。

① 富士山　② 日本列島　③ 地球

A. ③地球です。

このような小さなウイルスなのでよくカゼの時などマスクをします。
マスクはウイルスを通してしまうそうです。
しかし、せきやくしゃみでウイルスが感染するときは飛まつ(水の小さな粒)で飛び散るので、ウイルスを飛び散らすことや吸ってしまうことを防いでくれます。
さらに、マスクは冷たい、乾いた空気からのどの粘膜が弱るのを防いでくれます。

＊カゼについて＊

カゼの予防は…
・手洗いうがいをしましょう。
・睡眠、栄養をとって体力をつけましょう。
・マスクをしましょう。

＊教室の換気について

1時間に1回くらいは授業をしましょう。5分くらいが目安です。

＊感染性胃腸炎(ノロウイルス)＊ 症状：吐き気、下痢、発熱など
1~2日で治るが感染力が強い

まだまだ油断できません。予防はカゼと同じで、特に手洗いが大切です。
食品はよく加熱しましょう。(85℃ 1分以上)
症状がみられたら、早めに受診しましょう。

胃腸炎と診断されたら 1) トイレはできるだけ他の所に飛ばないようにして、石けんですぐ手を洗ってください。
2) 入浴は、シャワーのみにするか、お尻をよく石けんで洗い最後に入りましょう。(下痢をしている時)

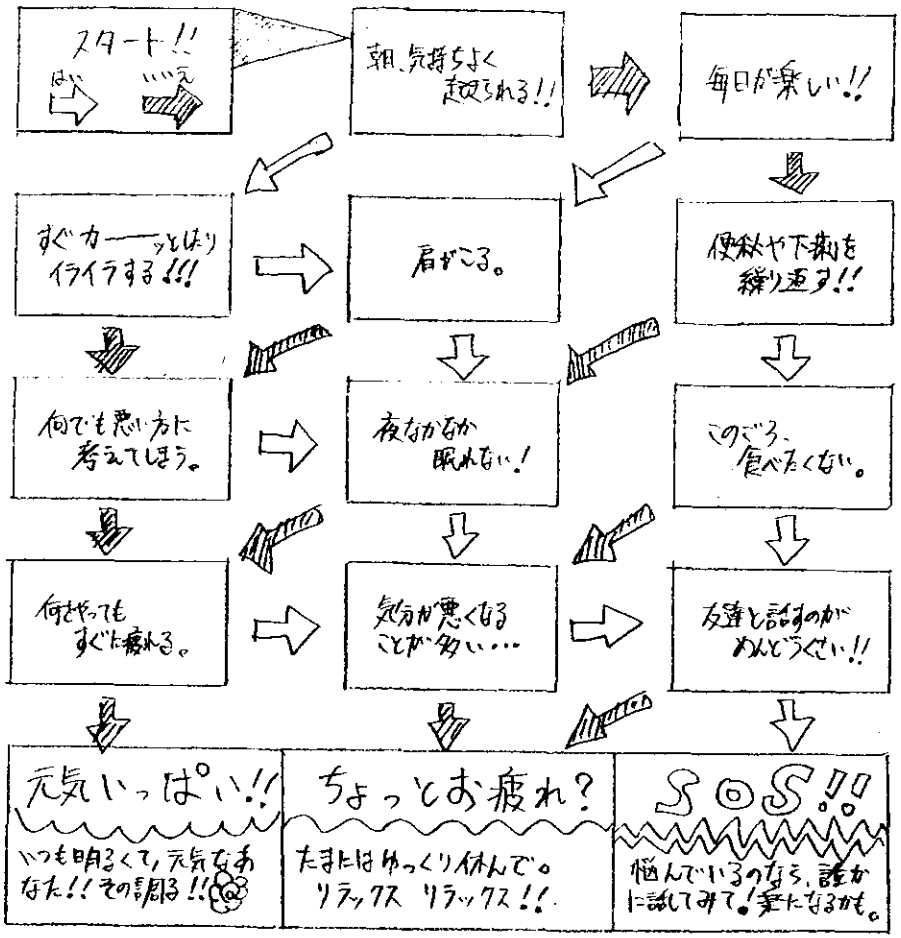
＊インフルエンザについて＊

予防はカゼと同じです。もし、インフルエンザになってしまったら出席停止になります。
インフルエンザと診断されてから、熱がさがって2日間までは欠席にはなりません。

(注)
1. 診断されたら、担任の先生に連絡してください。
2. 学校に登校できるようになったら、届け出の用紙を保健室まで取りに来てください。
(保護者の方に記入していただきます。)

心の健康

みなさんの心、げんき？ ストレス度チェック



いつもそこでかわらず ありのまま あなたらしく
ただ笑い ただ泣き ただがんばる
あなたがいい 心のまま 生きる あなたがいい

きむ

悪口についてどう思いますか？ 友達の心を傷付けない

誰だって悪口を言われるのはいやですよね。でもその反面、友達の悪口を言って楽しんでいる人はいませんか？「そんなに悪いことを言ったとは思わなかった」、「軽い気持ち」で言ったことで取りかえしのつかないほど友達を傷付けてしまうことがあります。

みなさんは、ほんの小さなことでも傷付く年ごろなのです。友達のいやがることを言ったり、やったりしないようたがいがけましょう。

①自分がやられたらどう思いますか？ まずそこから考えてみて下さい。

②傷付けた方はすぐ忘れても、傷付けられた方は一生忘れません。

③“言葉”一つで、友達を傷付けることも助けることもできます。

④悪口を言うことで仲良くなった人とは本当の友達ではないと思います。

悲しい、不安、腹が立つ…、マイナスの「感情」に対処するために知っておいてほしいこと

人間には様々な「感情」があります。嬉しい、楽しいといったプラスの感情から、怒り、悲しみ、不安などマイナスの感情まで様々。しかしこの「感情」というもの、自分自身のものでありながら、実はコントロールすることが非常に難しいとされています。嫌な目にあったときには、誰でもマイナスの感情が湧き起こってくるものです。友達から憎まれ口や皮肉を言われたとき、ムカッと頭にくるのは自然な「感情」といえるでしょう。

しかし、マイナスの感情をそのままにしておくとストレスになり、さらにもし「売り言葉に買い言葉」で相手に同じように言い返してしまったら、ケンカになってしまうかもしれません。そうなると、さらにストレスは強くなってしまいます…。

例えば、嫌なことを言われた時腹が立つのは自然な感情ですが、その後の言い返す・言い返さないは「行動」です。自分の「行動」は「感情」と違いコントロールすることができるのです。

「感情」はコントロールが難しい、でも「行動」はコントロールできる。まずそのことをしっかり認識してみて下さい。

さらに、「行動」により「感情」に変化を与えることも可能なのです。落ち込んだ感情の時、落ち込んだままでいいので、とりあえず無条件に楽しい、心地よいと思える「行動」をとってみて下さい。好きな音楽を聞く、おいしいケーキを食べる、友達とグチを言い合う、運動をして汗をかく、お風呂に入ってリラックスする…、例えどんなことでも自分が楽しい、心地よいと思えることをした後には、それまでのマイナスの感情が少なくなっていることにきっと気づくでしょう。

弱いところもね 隠したり嘘ついたりしなくてもいいんやで
弱い所も良い所も 全部含めて あなたなんだからね

きむ